

2000/6/18 下北沢ロフト(凜)

コマツ アユミさん(女性 Guitar,Vocal)、ウラタ ヒロヲさん(男性 Bass) 下北沢ロフト 木夢鳥さんとのタイバンでした。

まず木夢鳥さんのステージ。

そのあとで、ステージを異世界に変えていくような 凜のステージです。アユミさん、MCはなにかぎこちなく 小柄な感じ

ですが、歌いはじめると何かのりうつったような 感じになります。

醒めたコーヒーの自由...

この日だったのでしょか? うす青い空に、ふわふわした白い球体が 疾走していくような感じがしたのは...

アンケートに、私は妙なことを書きました。「空間が歪んでいく感じ」とか、

コマツ アユミ

α ω ---> ミコ

とか ...

6月18日の曲目は 御参考までに

1. 名前のないうた
2. 朝帰り
3. 自由
4. 400円のロック
5. Rolling Stone
6. 扉
7. 輪廻
8. Bed room

現在、とてもお気に入りの ふたり組です。

2000/6/30 小岩M3(凜)

サイモンとガーファンクル風のシンガーなどのステージのあとで、9:00ころから凜のステージ アユミさんのMCより (Bed Roomの前)「よく友達に言われたのが あなたは、もっと人と協調していくような曲を 作らなければダメだとか」

「私の最初のころの作品は、私の部屋 狭い空間 で創ったものです。」「自分の部屋に籠って 独りで悦に浸ることってありませんか?」「部屋の中に籠ってつくったとか自分の部屋に籠って悦に 浸る ようなことが好きです。」「私の部屋へようこそ という歌です。」

そうそう、凜... 歩さんのステージ なにかこう、吸い込まれていくふうにも感じられます。磁気みたいな感じです。

曲目憶えていませんが確か "自由"と "Bed Room"と "名前のない歌"

このあと、家でレナード コーエンを聴いた憶えがあります。

2000/9/22 池袋adm (凜)

このころは、私は、ピンクフロイドやカルメン マキ & OZ よく聴いていました。
似ているというわけではありませんが 凜の世界、フロイドにも近いかもしれません。

9月22日、池袋adm 6グループの1番目が、凜(りん)さん

曲目は

1. 朝がえり
2. 扉
3. ローリングストーン
4. 輪廻
5. Bed Room

アユミさんとは、ちょっとしかお会いできませんでしたがお元気そうでした。

少し残念だったのは、1番最初だったことです。凜のステージが...

凜は、後のほうがよく合います。

そう、他の音楽とは対称的であったり、異世界であったり逆だったりします。

凜は、このあと活動休止....

で、歩さんのソロ という展開になっていきます。

2000/10/27 吉祥寺マンダラ

アユミさんのライブに行ってきました。ソロになって初めて.... メールいただいて...「ライブやります。立ってられるかな」

吉祥寺マンダラ 曲目は、完全にメモをしていませんが

1. 朝がえり
2.
3. ラリる、レプリカ
4. 扉
5. 表情(かお)
6. 名前のない、うた
7. ベッドルーム

私は、アユミさんの歌きいていると これは、扉だったと思うのですが なにかこう、白い顔できれいな、スカイブルーの空間を浮遊していくようなイメージが出て来たりします。(イメージっていても、そんなにリアルじゃありません。) タロットカードの画像が似合いそうな感じです。と、これは私のイメージです。

アユミさんは、11月に沖縄に音楽の修行に行かれるそうです。

2000/12/12 渋谷アピア

(秋の new face さんのレポート)

ざらめさんのあとに、歩さん。すべてが対照的でした。
内へ向かい、底へともぐってみようかと、こわごわ湖に手を浸しはじめたざらめさんと、
外へ、外へ、勢いで大気圏まで突破していちゃいそうな歩さん。もう、自分のソコはぶち破り、カンラと笑い、脱ぎ捨てたカラはかげにしまい、ギター一本で立つ。龍。

- 1「かお」
- 2「朝帰り」
- 3「とびら」
- 4「熱帯夜」
- 5「らりるれぶりか」
- 6「ベトルーム」

はじめて、一人旅で沖縄に行ったそうです。
いろいろな人を思い浮かべました。山崎ハコ、浅川マキ、森田童子、ちがうちがう違う。
歩、その人、として、歌ってました。
ジャニス・ジョップリン、きいたことはないのですがその名が浮かび、次にジャニス・イアン。
さらに、キャロル・キングがきて、久しぶりの聴きたくなくなりました。
下田、加川ライブで今年は終わり、と思ってましたが、ラストを歩さんでしめられて、来年への展望がチラリ。 2001年1月12日(金) アピアにて次回ライブ そのあと吉祥寺マンドラだそうです。

2001/01/12 渋谷アピア

渋谷アピア、遠藤ミチロウさんがよくライブをされる場所です。私は、今回初めてです。狭い空間ですが、年月が感じられる場所です。
友人といっしょに歩さんのライブです。
歩さんのアンケート用紙、手書きのシンプルなデザインです。
なりたつよしさん 田中クミコさん 上間常広さん みなさん、アピアのふいんきに合っているような感じの方です。
ギター、ハーモニカ ボブ・ディラン、友部正人さんスタイルで、"たま"のように歌う上間さんのあとで
最後が、歩さん。(やはり、対象的) オリーブのようなシャツと 赤いロング
小柄ですが、前と比べて、ちょっと顔が変わった感じがしました。(カルメン・マキさんのアルバム「ボイス・オブ・モーゼス」のジャケット写真を連想するような)
最初が、「朝帰り」 なにか、もうろうとした中で、破裂するような曲です。「orange」、「熱帯夜」(.... この辺、バリ島とかの熱気を感じさせるような ...) 「扉」、「雨」、
天井を突き刺すようなヴォーカル、殻を破壊する感じなのでしょうか....
歌詞は、強烈なのですが、破壊的でもあり、澄んだ空気のようなでもあり、 なにか、いくつかのものが重なっています。これって、いろいろ想起してしまいます。
激しい、でも静かな感じもするし 平坦から、急に強烈になるあたりは "私は風" なのかな.... (もちろん、メロディーが似ているとか、そういう話とは違います。)
こう、いろいろ開かれていくようにも 聴こえます。
歩さんの、ステージ 剣術の、新陰流の一刀両断の型を連想させます。身体が中心が出来ている感じで...
最後は、「Bed Room」 部屋のなかに、浮遊感が漂うような、もうろうとした空気が漂うような不思議な響きです。
年末年始は、岡山で 巫女さんをされていたそうです。

2001/01/26 吉祥寺曼荼羅

曼荼羅、マンダラ、名前の通り不思議な空間なのかもしれません。

喜怒哀楽、優しさ、思いやり、明るさ、暗さ これらの存在は、これらを、あざ笑うような巨大な存在に出会ったときに消滅してしまうのかもしれません。

巨大な、純粹精神のようなものに....

アイヌか、沖縄の謡にも似た深い遠吠えのような ヴォーカルのあとで

イントロを、聴いて「あっ扉だ!」そうです。「扉」です。

するどい感じの「熱帯夜」、「顔」これは、私が、Carmen Makiさんをよく聴いていたせいかもしれませんが、「Lilly was gone with window pane」を連想しました。メロディーは違うのですが、なにか、裡に似た世界を感じました。

「Orange」 歩さんはこの曲を歌うときは、張り切ってしまうのです。

「ラリる ラプリカ」 この曲、なにかこう 歌うたびに成長してくる感じです。この曲、今日発見しました。何回か聴いているはずなのに.... 最後の方は、波紋のような演奏

「Bed Room」

歩さんのステージ 曲目をメモするのですが、出だしのときに、筆が動きません。出だしを、じっと、聴いてしまいます。

歩さんの世界って、私が、感じただけなのですが、

表向きは、苦悩からくる叫び

ところが、実は それを、あざ笑う存在

色にたとえると、薄い雲状の紫か、オリーブ色

喜怒哀楽を、あざ笑う 醒めた存在。情熱や、熱い思いを消滅させてしまう巨大な存在。巨大な純粹精神なのかもしれません。

ただ、まだ身体が巨大な存在を統御できていないのかもしれません。何か、不足しています。

ただ、それは未成熟という魅力です。

2001/03/08 吉祥寺曼荼羅

外は、少し雨
7時半ころ、ちょっとお名前は忘れてしまったのですが 陽気な方のステージ。
曼荼羅のお客さん沢山いらっしゃっていました。すこし、酔っていた右側の数人
野次を飛ばしたり.... 酔って、騒いで陽気な曼荼羅 わいわい、がやがや 楽しい場です。笑い
声とか、ザワザワ・ザワザワ
傘が何処かに消えてしまいました。
次に、歩さん登場 つぶやくように静かに曲紹介「らりる、レプリカ」 開始
しばらくすると、右側の数人 立ち去ってしまいました。"その場に合わない方は、立ち去れ"
という感じのふいんきです。歩さん。(本当は、残っていて欲しかったのでしょうか。でも、そんな
感じがしたのですよ。) ちょっと、風邪が残っていたのか、声、枯れていました。他の方、気がつ
いていたのだろうか...
火災のときに、強烈な爆発物 例えば、ダイナマイト 炸裂させると、燃え盛る火を消し飛ばし
てしまうことがあります。そんな感じです。
今日は、大好きな「自由」歌われました。誰もがあこがれる 自由、フリーダム それを、否定
してしまうような曲です。まるで、階段を激しく駆け降りるように 落下していくように...
今月のテーマは、「色気と母性」 歩さん曰く、御自分に不足しているものだそうです。 それ
で、3月8日が、娼婦 Night 3月15日が、Mother Night
あと、この曲、ずっと聴きたかったのですが 聴けました。「400円のロック」 黒人の方の作
品だったような... (記憶違いでしたら、スミマセン)
静寂 激しさ 冷たく、涼しく、しかも燃えさかる炎という感じ。
お客さん、少なくなっていました。お客さんが、立ち去ってしまったということは、必ずしも
実力が無いということではありません。
その場に合わない人達は、立ち去ってしまう。在る意味で、歩さんの実力、存在を 証明する
現象であります。
最初、「Orange」を歌う予定が、「バイバイ」に変更
この場に合わせたのでしょう。
海外旅行、行きたい場所 "ニューヨーク"のときは上昇指向
ところが、"ベトナム"下降指向
歩さんのステージ、熱く燃え盛っている魂 を冷ましてしまう働きがあるようです。
熱くて暴走している魂を...

=== 曲目リスト ===
「らりる、レプリカ」
「熱帯夜」
「自由」
「400円のロック」
「バイバイ」
「Bed Room」

2001/03/15 渋谷アピア

ライヴレポートにこのような話も、とは思いましたが...

歌ですが、聴く側の方が覚えやすいこと これは、基本だと思います。憶えられる歌は、他の方がカバーできます。また、歌をこの世に生み出した方がこの世を去っても残っていきます。良い歌とは、記憶に残る歌なのかもしれません。

私も、歩さんのライヴ 何回か通っていて「朝帰り」や、「Bed Room」、「自由」少し憶えたようです。曲名を見て、どんな曲かある程度思い出せますので...

歩さんのテープ配布、最近始まったのですが、自分からは申し込んでいません。以前は、テープを欲しいと思っていたのですが、なんとなく憶えてしまっているので、申し込む気が起きないのです。脳は、どんな媒体よりも性能の良い記録媒体ですので ...

ただ、歩さんから これは、特別だったのかもしれませんが... 戴いたテープは、持っています。ダビングは不可です。これは、約束事ですので... これを、ダビングしてしまうと 歩さんのライヴに行かれなくなります。(約束事とは、そういうものです。)

ところで、今回は "娼婦 Night" に対しての (と敢えて "対して" と書いてしましますが) "Mother Night"...

ここの、背景を "スカイブルー" にしました。理由は、「輪廻」と「名前のない歌」「扉」だからです。

今回の、歩さんのライヴ 暖かい場だったと思います。

気のせいかもしれませんが、ヴォーカルにも Heart Hotな感じが加わっていました。

先の3曲、元気ソングに聴こえましたので...

人が沢山集まってくるステージのオーラを感じました。

あと、歩さんの裡には、やはり、ハードロックがある感じです。

客席のイスに、心地よい振動が伝わっていました。

途中で、ギターが切れてしまう ハプニングがありましたが、そういうときに、本領が発揮できるような感じです。曲目リスト「表情(かお)」「朝帰り」「雨」「輪廻」「名前のない歌」「扉」

「名前のない歌」と「扉」は、クリアーな世界が開けてくるような響きがあります。

歩さん、4人のうちのラストだったのですが、もう一人気になった方が、二人目の山田真規子さんは、佐渡山豊さんのマネージメントをされている方のお気に入りの方です。山田さんにも、圧倒されました。ピアノの弾き語りです。

山田真規子さんの曲目リスト「明日へ」「忘れない」「あいたい」「Amazing Grace」(ゴスペル)「想い」「みこと」山田さんも、歩さんのこと 気にかかっていた感じでした。

2001/03/26 池袋 ADM

池袋 ADMは、私の職場のすぐ近くです。もう、目と鼻の先です。
去年は、ちょっと入りにくい場所でした。でも、今年は入りやすい感じでした。同じ場所なのですが、周りが変わっていました。
ロックバンドのステージが多い場所かもしれません。
6時半開場、7時すぎ開演
歩さんのステージ開始 音質が良く感じられます。設備が良いのか...
歩さん、最近リリイ 聴いているのかもかもしれません。声が、そんな感じです。
リリイの曲、聴くと声まで似るのかどうか 判りませんが...
それとも、私が最近 CD引っ張りだして聴いているので 勝手にオーバーラップさせているのか...
リリイ、風邪 プラス 二日酔い の、しゃがれ声とか、よく言われていますよね。確か...
ふいんきは、街を片手に散歩するといいますが、若さにまかせて、活歩している感じ そんな感じでしょうか... しかも、メッチャクチャな生活
熱帯夜るとき、ちょっと歌詞が消えていました。でも、ちょっとだけ
まず無いことです。歩さんのミステイク 観るのは、最初で最後かもしれません。
歩さんの歌は、歩さんの言葉なので 消えるのは、本当に今まで皆無なのです。
去年は、「凜」という、ユニットでライブをされた 場所です。あのときは、実はちょっと輝きがなかった感じでした。歩さん、元気が無かったような...
今日は、独りで活歩している感じ...
静寂の中で、りりイのような低音が 鋭く聴こえます。
(曲目 1. 雨 2. 熱帯夜 3. バイバイ 4. Orange 5. Bed Room)
ただ、声を出しすぎている感じです。お能のヴォーカルのように 自分を出さずに、低音でお腹の奥から出せば 良いのかもかもしれません。
そうすれば、響きかたが違ってきます。
能楽やっている人達は、マイク使っていません。考えてみればアカペラです。
しかし、これレポートになっているのかしら...
そうそう、静寂の中でギターを、一回弾くだけで 表現できるんですね。
歩さんってそんな感じ...
歩さんの熱帯夜 対立するものが浸透していくような そんな感じ
(このあと、二組 ロックバンドでした。壮快な音!)

2001/5/9 吉祥寺マンダラ

今年になって、吉祥寺マンダラ 何回目なのでしょう。とにかく、時間があつたので立ち寄りしました。入り口で、歩さんにお会いしました。

今日は、女性四組

歩さんは、2 番目 歩さんの演奏が始まる前に、イギリスの女性フォークシンガー アン・ブリッグスの曲が流れています。

アン・ブリッグス 昔 1 枚だけ CDを持っていてよく聴いていました。今は手離してしまったのですけれども。

歩さんは、今日も素足でステージへ

「ローリング・ストーン」 ちょっと、違う曲になっていました。

私は、吉田拓郎さんの「リンゴ」を ちょっと連想してしまいました。

拓郎さんの「リンゴ」は、リンゴを二人で食べる曲なのですが、「ローリング・ストーン」は確か、二人は転がる石 そんな曲

「らりる レプリカ」

男女の 悪循環のような関係が続くような感じの 曲なのでしょうか？

男女の 悪循環のような関係が続くような感じの 曲なのでしょうか？

なんとなく、男のような男と、男のような女のトゲトゲシイ 感じで尚かつ、そのまま グルグル 続いていく感じのような。。

「らりる レプリカ」は、かき鳴らすようなギター演奏で締めくくられました。

今日は、繰り返すという感じが残りました。でも、「輪廻」は、歌われませんでした。

「Bed Room」のときは、箸でテーブルを叩きたくなりました。でも、箸が無いんです。

=== 曲目 ===

「朝帰り」

「ローリング・ストーン」

「熱帯夜」

「扉」

「らりる レプリカ」

「Bed Room」

2001/5/13 新宿 OPEN

新宿 OPEN とにかく、レゲエのお店
ボブ マーリーの肖像画が飾ってあって、店の方は、レゲエ! という感じで、レゲエが、BGM
(笑)

とっても、陽気で楽しい場所
今日は、母の日
歩さんのお母さんが、6月13日から6月26日までの間 上野で個展を開かれるそうです。
歩さんのお母さんは、私の母と同じお名前なので、予定が合えば、出かけてみようと思いま
す。

歩さんは、お母さんと折り合いが悪かったとの事
昔の私みたいなのです。
ただ、人は、年を取ると温厚になっていく場合もあるので、とにかく、親子は最後に近くな
ったときに仲が良くなれば良い。

本当は、親子は仲が良いのです。
そうそう、私も自分の事を「運が良い」と思っています。
本当に、「運が良い」かどうかは、「運が悪い時」に良く判ります。ツイテいない状態を切
り抜けられれば、「運が良い」のです。

OPENは、狭い場所でレゲエ! って感じのお客さんが多いようです。
熱いステージでした。「Rolling Stone」やはり、拓郎さんの「リング」みたいなアレンジ
歩さんのライブで アンコール 初めて観ました
アンコールが、「らりる レプリカ」 "アンコールらしくない曲" と 歩さんの弁
うーん、確かに「扉」のほうが良かったかも。。
でも、お客さん喜んでいたので 良し!
そのあとで、チリ ビールが似合う 熱い時間が続いていくのです。

==== 曲目 =====

「顔」
「Rolling Stone」
「バイバイ」
「名前のないうた」
「Bed Room」

==== アンコール =====

「らりる レプリカ」

2001/5/15 渋谷アピア

歩さんは、一昨年の今頃、歌を創って、歌い始めたそうです。

「ローリングストーン」「名前のないうた」

歩さんの世界は、"醒めた世界" これは、"冷めた世界"ではありません。ただ、"覚めた世界"には近いのかもしれませんが。

「ローリングストーン」

"結局は、人は、ただの転がる石"

歩さんの曲は、醒めているのです。

音楽に救いを求める人は、おそらく歩さんとは、縁がないのかもしれませんが。歩さんの音楽は、メッセージ・ソングでもありません。

とにかく、熱くなっている、普通の世界に戻るのです。

歩さんの演奏は、激しくて尚かつ醒めているので座って聴いていて、とても、心地が良いのです。

今日は、最初の曲が「Bed Room」

歩さんは、まだ"母の日"が終わっていないようです。お母さんの個展の案内がまだ、6枚残っていたようです。

お母さんの個展の案内がまだ、6枚残っていたようです。

「Bed Room」で始まり、「名前のないうた」で締めくくる珍しい曲順でした。

「名前のないうた」歩さんが、観た"空(くう)"の世界です。

最後の曲が、「名前のないうた」だったので、このページの背景は"みどり"

==== 曲目 =====

「Bed Room」

「ローリング・ストーン」

「オレンジ」

「バイバイ」

「熱帯夜」

「名前のないうた」

2001/6/14 渋谷アピア

歩さん、
6月9日に、駒込で
佐渡山 豊さんのライブ
初めて、体験されたそうです。
「うーん、すごかった!」
との事。
佐渡山さん、マイクなかったようです。
あの方は、マイクなしでも歌えます。
今日は、6月14日
佐渡山さんのお世話をされているトランジスター・レコードの岡さんが見えていました。
もちろん、歩さんは4番目35歳くらいのときの吉田拓郎さんみたいな恰好でした! (こんな
表現して良いのかしら i
今日の曲目「Rolling Stone」「朝帰り」新曲 左足に鈴をはめて!「赤ちゃけたハッピー」昨日、作ったんですって!「熱帯夜」「名前のないうた」「バイバイ」そうそう、今日は最後の曲が、"Bed Room"ではなく.....「扉」
MCより、いろいろな話
..... 沖縄のパスタ屋さんの話 もしかすると、数曲歌えるかも 6月末は、沖縄ライブの歩さん!
..... 広島宮島 インド綿の服を鹿に食べられた話
..... でも、インド綿の服 沢山持っていたそうです。
..... さすが、スペアは沢山有り!
うーん、今日はちょっと、声がぼわーんという感じでした。
でも、そんなのは気合いで乗り切ってしまえ!
Fu Fu Fu
終了後のアピアでのオフ会
歩さん、岡さんとゆっくりおしゃべり!
良かった!

2001/7/28 渋谷アピア

7/28 は、隅田川の花火大会の日でもあります。そのせいで、電車が混んでいたらしいのですが、私はとくに気になりませんでした。東京近郊の電車は、混んでいるのが普通のような気がします。

この日は、遠藤ミチロウさんとのタイバンで1ヵ月前から私共の間で話題になっていました。そうです。あの泣く子も黙るあのスターリンのミチロウさん。

で、歩さんのステージは6時50分から...

「イントロダクション」は、「コップの中に詰まったコインを、床に叩き付ける～」という感じの曲。なんとなく、「400円のロック」に感じが似ている曲です。

歩さんは、6月の末から7月の初めころにかけて沖縄へ、音楽旅行をされました。

そこで、沖縄の有名シンガー(だと思えます)石垣勝治さんと出会いました。

石垣さんと、飲んでいるときにネギを目の前にして出来上がった詩が「焼きネギブルース」

このときは、ネギが残り1本しかなかったようです。その虚しさというんでしょうか...

石垣さんから、「曲をつけて良い」と進呈されて出来上がった曲です。

歩さん曰く、「ブルース 私のブルースはインチキなのですが、、」というお話だったので、とにかく私はブルースだと思って聴いていました。

沖縄は、天気はとにかく「青と白」の世界だったようです。澄みきった青と白の世界。

そこで、歩さんは殆んど1日中ギターと共に過ごされたようです。出会った人の前で、歌を歌ったり、、

「無題」、明るい感じの曲。ズムズムというタツタ屋さんで浮かんできた曲。

沖縄で、クリアーな意識状態になったのかどうかは判りませんが、その感じを持ち帰ったような歩さんのステージでした。

曲目「イントロダクション」「Rolling Stone」「朝帰り」「赤茶けたハッピー」「焼きネギブルース」「無題」「Bed Room」「名前のないうた」

この後の遠藤ミチロウさんのステージを観るのは初めてだったのですが、「空と銀鼠」、「天国への扉」そして、あの「先天性労働者」を生で聴くことが出来ました。「先天性労働者」は、カールマルクスの「共産党宣言」そのまま。

2000/8/25 渋谷アピア

アピアでのライブは、もう月例のようになっています。6時頃到着、Yさんがもうすでに来ていて歩さんとおしゃべりしていました。開演は、7時頃タイバン4人のラストが歩さんです。先の3人、各々とても良い感じでした。で、ラストが歩さんでなんとなく、トリを務めるシンガーの風格が出てきた感じがしました。とても、大きく感じたのは私だけなのでしょうか? 「イントロダクション」は台風の目のなかの静けさのイメージ。"熱帯夜は、7月いっぱいと思いきや、今日は暑いですね。" 「熱帯夜」今回は、唄をジックリと聴くことが出来ました。「Orange」"朝焼け" ... Orange: 消滅した時間 ... "夕焼け" 「扉」沖縄では、「トービラー」はゴキブリのことなのでのぼして曲目を伝えると誤解されるそうです。

-- Look! 本当に相手を観るためには、目を閉じる --

沖縄の石垣勝治さんが8月30日でライブをされるのですが、歩さんは、準備万端で飛び入り出演されるようです。そのあとが、関西沖縄文庫

「島」は、沖縄の砂浜(私は沖縄に行ったことが無いのですが、、、)のさわやかなイメージが浮かんでくるような曲で、とても良い感じです。今までの歩さんの曲とは、ちょっと違う感じです。とてもクリアーな感じです。

歩さんは、あと10月7日、8日に北千住のお祭りの石垣勝治さんの屋外ステージに出演する予定

「バイバイ」は、何故か大きな船が、ゆったりと堂々と大西洋を渡っていくようなイメージが浮かんでしまう曲です。(歌詞の中には、「船」という言葉は全然出てこなかったと思います。)

ライブ終了後、歩さんが"いろいろな人に助けてもらっている感じです。"とおっしゃっていたのですが、実は、『大きな船』に乗っているだけなのかもしれません。それは、私が感じた『大きなもの』と同じものかもしれません。

曲目「イントロダクション2」「熱帯夜」「Orange」「扉」「ラリる、レプリカ」「島」「バイバイ」「Bed Room」

2000/9/22 渋谷アピア

今年、沢山「歩」さんのライブを観ました。今、ライブレポートの数を見たらかなりの量です。我ながら、よく出かけたと感心しています。9月22日のイントロダクションは「裂いた裂いた」御存知、＜チューリップの花＞の歌です。さて、そこから「表情」(かお) いままで、＜わたし＞だと思っていたのは＜わたし＞ではなく、＜仮面(ペルソナ)＞だった。そう自分以外の何者かになっていた。その仮面を取ったら、「かお」が無かった。＜わたし＞は、＜わたし＞じゃなかった。＜わたし＞は無かった。＜わたし＞は消滅していた。「朝帰り」とにかく、＜わたし＞は眠りたい! それ以外の何でもない。眠りたい! 眠りたいときは、それしかない。普段のものは、何もない。.... 大阪、8月30日から2泊3日 石垣勝治さんのライブに飛び入り参加! 一箇所は、＜ふつうのライブハウス＞一箇所は、＜教会＞教会のイスは固い。そこで、「表情(かお)」はハマりすぎる感じがするし、、(顔が無い! とかスリリングに歌うと怖い感じがしますね、、)「朝帰り」とか教会で叫ぶわけにもいかないし、、で、教会で歌ったのは「Bed Room」「Bed Room」は＜そこ＞の空気にマッチしていた。＜そこ＞では、声にひっぱられる感じで、、とても、良かった。その「Bed Room」ちらかった部屋そこは、＜虚無＞な感じそして不純物が＜無く＞クリアな感じつまり、そこは＜静寂＞だった。そして、そこは＜廃虚＞のようでもあった。でも＜静寂＞だった。「Orange」いままで、見ていたのは偽りの姿 本当のこと、ずいぶん食べてきたんだ! 両方を一度には観れない。その＜時間＞は失われてしまった。つまり＜消滅＞してしまった。..... 最近、素足から上げ底ブーツになってしまって、夏か使っていた鈴が合わなくなった。でも、「赤ちゃけたハッピー」＜理想＞は飛んでいって、現実、＜土＞の中。でも、それで良い。＜理想＞を追わなくても土のなかに＜ハッピー＞は存在する。.... ハガキ大のカードに「石垣勝治」&「歩」の案内があって木場のイフで10月6日。11月に宮古島＜船底＞のような感じ。「名前のない、うた」私は＜何か＞を探していた。私は、＜歌＞を探していた。さまよっていた。そして、＜空＞になって＜空間＞をただよっていた。私が探していた＜わたし＞は＜空＞全体だった。そう、＜わたし＞の存在は実は＜空(くう)＞だった。「タイフウのメ」台風のときは、もうどこにも帰らない。＜わたし＞は、台風の目＜それ＞自体だから、、..... 9月11日に、ニューヨークで爆弾テロがあってそのせいかもしれないのですが、最近、歩さんの＜うた＞の意味が判ってきました。歩さんの世界は＜理想＞ではなく＜現実＞を見つめる＜目＞9月11日に、＜現実＞を観てしまったのです。＜現実＞を目の前にして、＜静寂＞しかありませんでした。その＜静寂＞は、歩さんが激しく表現する＜空(くう)＞かもしれませぬ。「名前のない、うた」を今日聴いたのも何かの縁です。この歌は、歩さんの＜空(くう)＞

2001/10/06 木場 if 石垣勝治 & 歩

歩さんのステージを最初(α)に観たのは、昨年の木場公園でのイベント(木場ストック)でした。木場のイフは、そのイベントを主催しているお店です。歩さんにとって〈ふるさと〉のようなお店なのかもしれません。久しぶりのイフでのライブです。(ただ、私はイフでの歩さんのステージを観るのは初めてです。)石垣勝治さんは、高田渡さん監修のアルバム"バク"に参加されている沖縄の代表的なブルース・シンガーです。下田逸郎さんのアルバム"いきのね"に「美らフクギの林から」という曲が収録されているのですが、この曲は石垣さんが作詞された曲です。今年の歩さんにとって一番大きな出来事の一つがこの石垣勝治さんとの出会いだっただけなのかもしれません。

まず、歩さんのステージ「Rolling Stone」世界は自分中心 自分は、ずっと眠っている。自分中心なので自分はずっと眠っている。周りは、ただ動いているだけ。周りのことは、気にならない。〈わたし〉は世界の中心である、ただの石。〈あなた〉も世界の中心である、ただの石。石というのは、何もしないんです。各々の〈石〉が〈世界の中心〉なのです。〈周り〉は〈無〉です。これに気がつけば、なにも起こらないのです。なにも起こらなければ、そこは〈自由空間〉です。「扉」「Orange」〈対峙する世界〉「Orange」最近の代表曲です。「バイバイ」〈わたし〉は〈アルファ〉であり〈オメガ〉である。〈最初〉であり、〈最後〉である。歩さんの背景には、〈黙示〉が合うのかもしれません。〈わたし〉は、〈循環〉する存在である。たどりついた場所は、〈終り〉の場所。そして〈始まり〉の場所。〈そこ〉から、また次の場所へ。「島」石垣勝治さんとの〈出会い〉を象徴するような曲。歩さんにとって、石垣さんは〈沖縄〉の〈砂浜〉であり、〈ハレ〉の存在だったのかもしれません。今までは、〈ケ〉が中心だったのかもしれません。勝治さんとの出会いによって、〈ハレ〉が訪れてきた感じです。とても広い〈砂浜〉です。今年の〈沖縄〉は歩さんにとってとても大きな存在でした。「Bed Room」

休憩を挟んで石垣勝治さんのステージ 赤い袖の半袖のTシャツで勝治さん 登場「マハロ」「なんくるないさ」石垣さんは、4~5年前まで"万陳亭"というラーメン屋さんを経営していました。ラーメンを作っていました。「第一印象」「生活の柄」高田渡さんの名曲。石垣さんは、お酒飲みのイメージが強いのですが、ウーロン茶しか飲まないそうです。高田渡さんは、三ヶ月の入院費のために一年のツアーをされているそうです(笑)高田渡さんの家は、いろいろな種類の〈部屋〉があってとても楽しいそうです。「台風之歌」新アルバムのタイトル曲。〈みなみ〉からの熱いエネルギーが〈台風〉です。〈台風〉は南洋の風景です。「失業手当」これも、高田渡さんの名曲です。休憩を挟んで歩さんと2曲「焼きネギブルース」歩さん & 石垣さんのデュエット 歩さんと石垣さんの沖縄での一コマがこの歌になりました。「なんにもないけれど」こんどは、石垣さんと歩さんのデュエット「玩具」"バク"に収録されている名曲。「月の出の遅い夜に」「????」(曲名が解らない)「美らフクギの林から」沖縄の〈モトベ〉に風よけの木それが、〈美らフクギ〉です。下田逸郎さんの"いきのね"にも収録されています。作詞が勝治さん、作曲が内田勤太郎さんです。【アンコール】ブルースを2曲 おそらく、1曲目が「ルート66」もう1曲は、日本語の曲でした。最後に「十九の春」沖縄の名曲で、佐渡山豊さんで有名な曲です。高田渡さんも、この曲を歌われています。石垣さんと歩さんのジョイントが木場のイフ。この日は、石垣さんと歩さんを繋いだ様々な方が見えていました。今年の歩さんの活動、人と人のつながりが集約されたようなライブ空間でした。

2001/10/27 渋谷 アピア

もう、ほとんど月例という感じの渋谷アピアでの 歩さんのライブ。

いつものように、4 番目(ラスト)が歩さん。「コイン」 コップに詰められたコイン。ここに一つの秩序が形成されている。つまり、コップとコインで美しい < 形 > が形成されている。

< 秩序 > の反対が、< 自由 > である。

コップに詰められたコインを床にぶちまけることが < 秩序崩壊 > である。

この < 秩序崩壊 > は < 滅する > ことでもあるのですが、人は、裡で < 自由 > を志向しているので、コップに閉じ込められたコインをぶちまけることでどこかすっきりしてしまう感じになるのです。

< 形 > になっているものをバラバラにしたあとは、また自然に別の < 形 > を志向していきます。

コインが詰まったコップにも、< 循環 > がたたみこまれています。「熱帯夜」 < 信じられるものなんていない > という言葉が印象的

そして、3 曲目に今回のクライマックス

「自由」

今回は、スローテンポな感じ。そして、ハードな感じ。

いつもは、....、....、..... という感じなのですが、今回は、....、余白、....、余白、..... という感じでした。

この曲は実際のテンポは関係なく、もともとスリリングな質を持っているようです。

一つの形を持っているものを < バラバラ > に分断させて個々のものの < 力 > を強くすることによって一つの形態にするような感じなのでしょうか、、、(ちょっと理屈っぽくなってまいりましたが、、、)

なんとなく、ジャニス・ジョプリンの「Ball And Chain」を思い出してしまいました。

あと、ボブ・ディランの "激しい雨" に収録されている「MAGGIE'S FARM」(注: この2つの曲は全然似ていません)

今回の「自由」は 将来 大きな会場での歩さんのライブを予感させるようなものがありました。

(MCより)

"山の中の滝を観てきて、滝を観たら元気になりました。" "滝からマイナス・イオンが発生しているようです。" "私にはマイナス・イオンが必要なようです(笑)"

"来月は、宮古島に行ってきます。" "漁師さんの船に乗ってマイナス・イオンを溜めてまいります。"

「バイバイ」

「Orange」

照明が暗くなりました。

「Bed Room」

(MCより)

"私は泳げないのですが 海が好きです。"

2001/11/27 渋谷 アピア

<ラストは 歩さん >

<照明は、green >

「朝帰り」

ギター姿がカッコ良い。

演奏は、<柔>

指の動きが柔らかい感じ。

11月の中頃は、沖縄 宮古島。

パスタ屋さんのマスターが育てた<冬瓜>料理がとても美味しかったそうです。

「熱帯夜」

ちょっと今日は声の調子が良くなかったのかもしれない。

私は、とてもヒヤヒヤしていました。

心の中で、"ガンバレ!"とか叫んでいる感じ。

懸命に走る! マラソン・ランナーを応援してしまっている気分でした。

でも、こういうこともあります。

.....

宮古島は、<ビーチ>というよりも <ガケ>という感じ。

とにかく <なにも無かった>

<池間大橋> <夜は 強風>

<池間島>は <朝日>と <夕日>が両方見える場所。

.....

私は、ちょっと記憶を辿っていました。

確か <宮古島全体は一つの宇宙>で

<池間島>は <北極星ネノハンマティダ>

つまり <池間島>は 二つの世界 <ティンカイ(天界)>と <ニライカナイ(死者の世界)>への入り口です。

<朝日>: <ティンカイ(天界)> <夕日>: <ニライカナイ(死者の世界)>

という訳です。

.....

夜は、ちょうど <獅子座 流星群>

「扉」

「赤茶けたハッピー」

今回は、なにも付けていない足(いつもは鈴付きです。)

「Rolling Stone」

とにかく、いつも思うのですがこの曲はカッコ良いんです。

.....

<宮古島>の話は沢山ありすぎてとても歌の合間には話きれないようです。

とにかく <旅の内容がすごく濃かった>ようです。

<毎日歌っていた> <そして、ちょっと食べすぎた>

<歩さん>は <歌うたい>なので <歌っていると>皆が助けてくれるそうです。

<歌うたい>は <歌う>ことが <生きる>こと。

「名前のないうた」

「Bed Room」

マラソン終了!

2002/11/8 渋谷 アピア

歩さんのステージを観るのは一年ぶりです。そして、アピアも一年ぶりです。

1番目が、藤岡マサヒロさん 2番目が、ボブ・ディランのような帽子を被っている男性シンガー ひまつぶしさん。ひまつぶしさんの音楽からは カントリー・ウエスタン、アメリカン・ロック等の香りがしました。かまやつひろしさん、ニール・ヤング、ザ・バンド、ザ・バンドのロビー・ロバートソン。3番目が、浦辺 力さん。ギターの弾き語りのロックンロールです。

そして、4番目が歩さんです。

髪型がショートカットになっていました。

ギターを弾きながら "こんばんわ"

「顔」

低音の声 声が以前より、ハスキーになっている感じがしました。

"どうも"

"今日はようこそお出戴きました。"

"渋谷区桜ヶ丘のここはアピアです。ありがとうございます。"

"今日の最終演目は『歩』と書いて『あゆみ』と読みます。"

「扉」

間奏のときのギター演奏が以前と違っていました。声がハスキーになったのと同時に以前の強烈さが穏やかになっていました。その代わり、ギター演奏の表現力がとても良くなっている感じがしました。歩さんのギター演奏はとても丁寧な感じに見えました。

"今日は寒くて雨だと思っていたんですよ。朝方まで ... "

"渋谷駅から歩道橋を渡った所に焼きイモ屋さんがあったの気が付きましたか?"

"今日は売れないだろうな。"

「Rolling Stone」

この「Rolling Stone」はロックしている感じです。

アピアの客席は満席状態です。

「朝帰り」

ロックバンド fra-foa の「踊る少年」を聴いたときに歩さんの「朝帰り」を思い出した事をまた思い出しました。「踊る少年」と「朝帰り」感覚が近い感じがしています。

"ちらしを混ぜてもらいました。" "入口の受付のとことに変な筆ペンで『歩』っていう... "

"それを見てもらったりとか、何かいろんな形で繋がっていったらなと思います。せっかく会えたのですから ... "

"気長に ... おばあさんになってもここで歌っていると思います。"

"アピアの年越しライブ、良かったらまた年を越しに来てください。"

「オレンジ」

「オレンジ」の始まりは静かなギター演奏に変わっていました。ゆっくりとした歌い方で、存在感があります。そして、スリリングに ...

"どうも"

"「夜明けの歌」という短い歌があります。それと最後に「海風」"

「夜明けの歌」

いろいろな音楽を回想していました。ディラン II、吉田拓郎さん、友部正人さん、なつかしい関西フォーク調 ... そして、自然の香りが在ります。

「海風」

ギター演奏がはじまった時に、佐渡山 豊さんの「会話」、「今夜はガウディ」、そして「石敢當」を思い出しました。いろいろなことが＜回想＞されてくる感じがしました。そして、大自然のとても大きな力が流れてくるような感じがしました。

"ありがとうございました。"

歩さんの作風が変わっていました。その変化(進展)は、「夜明けのうた」、「海風」に顕現していました。

強烈さが穏やかになり、優しくなっていました。魂が大きくなっている感じがしました。

歩さんのライブは故郷に近い感じがしていました。競争の世界から無縁の場所が＜そこ＞に在りました。そして、自然の力のようなものがそこには在りました。

2002/12/31 渋谷アピア 年越オールナイト ライヴ

(両手を広げながら) "十字架よ でかいね。" (ステージの背景に十字架がありました。) "私の身長位あるかも" "ピッタリかも" "天に居ます 我らの神よ 歩(あるく)と書いて ayumi(あゆみ)といいます。"

「雨」 スピリチュアルな響きを持っている静かで激しい曲です。歩さんのギターの音は軽快でとても心地良い感じです。

"ども、元気でしたか?" "「Rolling Stone」でも、ちょっと聴いてください。"

「Rolling Stone」

"2002年も最後になりましたね。" "どうでしたか? この最後という ... " "来年は沖縄の宮古島に行こうと思うんですよ。" "そこに住んで、そこからアピアに通おうかと考えています。"

「バイバイ」

"昨日、宮古の友達に電話をしたんですよ。" "歳は私と同じで漁師の娘さんなんですよ。" "すごく酔っ払っていて... " "本土出身という事で地元の婆ちゃん連中からは区別されているようで" "15分くらい訳の判らない愚痴を聞かされて ... " "東京でも会社勤めとかしているとストレスとか溜るでしょう。" "そういうの、何処に行っても変わらないと思う。" "何処に行っても問題は在る。" "自分が変わらないと環境が変わっても変わらないと思う。" "宮古島で作った歌「海風」"

「海風」 <母性の地> 宮古島の暖かさが伝わってくる歌です。とても、心地良い響きです。空間そのものを暖かくしてしまう曲です。

"宮古 良いねーと言われると '良くないよ' と反発したくなるんです。" "私は東京生まれなので東京が好きです。" "東京には自然が無い ... 宮古にはある" "でも、これから雪が降る そうですが東京にははっきりとした四季が在るでしょう。" "東京だって、こんなに自然が在って 気が付かないだけなんだよ、皆" "宮古は、たぶん自然に近くて ... "

「名前のないうた」

"私、はじめて CD を作りました。" "チラシを挟みましたが、只今 予約受付中です。" "タイトルは「アサガオと月」です。"

「表情 (かお)」

"最後の曲です。" "次はお待ちかね、遠藤ミチロウさんがガツーンと年を明けてくれると思うので..."

「Bed Room」 柔らかいギターの音です。

"ありがとうございました。"

歩さんの曲は、激しいようで実は繊細でとても 柔らかいヴァイブレーションを放っている感じがしています。醒めた歌詞、冷たい歌詞、激しい歌詞、暖かい歌詞(「海風」)、いろいろあるのですが 全て聴いていてとても暖かく心地良い感じです。そして、歩さんのギターは軽快でとても柔らかい感じです。あとで、歩さんから話を伺ったのですが歩さんは、ピアノの音に近いギターを目指しているそうです。

1. 雨
2. Rolling Stone
3. バイバイ
4. 海風
5. 名前のないうた
6. 表情 (かお)
7. Bed Room

2003年3月21日(祝)北千住 CRAWFISH

歩・First CD「アサガオと月」発売記念ライブ

北千住 CRAWFISHは、綺麗な感じの BAR です。奥の方に客席と同じ床にステージがあります。ステージ側の壁にテレビがあっていろいろなライブ映像が流れていました。BGMは、ボブ・ディランのアルバム「偉大なる復活」19:00頃、リハーサル Sax の男性と、キーボードの女性と共に「朝帰り」"今日は、曲順を敢えて考えていなかった"加川 良さんの曲を思い出すような曲"今のは、宮古の人に貰った歌です。"リハなのに曲についての説明 ...

20:30頃、赤紫のノースリーブにロングスカートで 歩さん登場、チューニングを始めます。

"こんばんは、'歩く'と書いて歩(あゆみ)です。" "私は宮古島のほうに音楽の旅をしています。" "宮古島は台湾に近いところで ... " "CDには、いろいろな人の音が入っています。" "今日も、いろいろな人が加わって行きます。" "ここは、BARです。お酒が足りなくなったら 遠慮なく注文して快適な状態で聴いてください。"

「コイン」

"ありがとう"

「熱帯夜」

足でリズムをとりながら「熱帯夜」楽しい感じです。

"ありがとう" "あの、すごく日に焼けて帰ってくると期待していた皆さん、すみません。全然日焼けしていません。" "色素を吸収しにくい質でして ... " "でも、紫外線が強くて皮膚はあまり変わらないけれど 産毛が凄いの" "なんか髪も結構伸びて切りに行く時間がなくて 思い切ってカツラを被ってしまおうと思ったのですが ネイティブ、原住民系になりそうで そこまで南の島をアピールしなくても良いだろうと 思って止めました。"

「扉」

"どうも" "「約束の日」、演りたいな ..." "適当にさ、..." (CDの歌詞カードを客席に座っている女性に) "CDに入っている曲で、「約束の日」というのがあります。" "気持ち良く歌って..."

"中学の '中' と書いて 'あたる' と言います。" "あたるって、年はいくつ?" (あたるさん) "17です。"

"たかっちゃん は?" (孝さん) "53"

"今回のレコーディングの最年少と最年長です。" "今回のCDには、参加メンバーのコーラスが入っています。"

歩さんのギターがリズムカルに走りだし「約束の日」スピード感のある曲です。あたるさんがコーラス、即興演奏に近い感じです。客席からコーラス。客席とステージの境界線が存在していない感じです。

(あたるさん) "お邪魔いたしました。、また後で"

"ちょっと宮古の話でもしましょうね。" "結局、自分の周りの人には '宮古' に住むと行って 旅立ったのですが、行って... 住処を決めないで行った。" "住む場所を確保するのは簡単。" "でも、本当にここに住みたいのかな ... " "現地の人の反発とかがあって、生活をするのは大変なのに簡単に考えているんじゃないとか" "石垣にも沖縄にも簡単に行けるんだけど 宮古から一歩も出れなかった。" "民宿を転々としたり ... " "例えば住むのは簡単" "でも、住所を決めても住んだことにはならない。" "ここに来る前にアパートに住む手続きの書類を貰って、ここに来ています。契約はまだしていないんだけど" "どんなに親切にされても、言い込められそうなので 3泊以上は出来ません。" "結局は、交通の便の良い場所のアパートを借りました。" "海の見える場所です。" "うーん、宮古の歌を演ろう"

「宮古の歌」(古い島の歌) 私には、ボブ・ディランの「ヘイゼル」という曲みたいに聴こえました。南の香りがする感じの歌です。 < 夢 > が崩壊しても < 世界 > は、何度も生まれ変わる。 < 循環 > を歌っている感じの歌です。

"どうもありがとう" "あたるも 歌を作って歌う人で 休憩の間に歌って貰おうと思います。"

ジャンベの男性が到着(加茂さん)

== 休憩 ==

心地良い、お喋りの声が聴こえる空間の中 あたるさんのステージ。

(あたるさん)

"となりで、ちょこちょこ歌わせていただきます。" "中毒の中と書いて あたる と言います。" "最後に歩さんの歌を歌うので楽しみにしててください。"

ざわざわした中に自然に聴こえてくる、あたるさんの歌。河島英五さんに近い節で、魂が感じられるような感じの歌声です。歌が力強く聴こえてきて、だんだん静かに...

1 曲歌ったあと、"次は、宮古に行ってもいないのに、産毛も生えていないのに「お帰りなさい」という曲です。"

「お帰りなさい」"歩さんの助っ人という事で『アサガオと月』の1 曲目の曲です。"

「海風」"休憩になりましたかね。" "中毒の中と書いて、あたる と言います。"

歩さん登場。"あたる です。友達です。17 歳です。"

2 部開始。

"あの一、「海風」良い感じね。"

"あたる っぽかった。"

"改めて、歩くと書いて、歩(あゆみ)と言います。"

"先程から北千住の CRAWFISH でライブを行っています。"

"宮古島にひかれて旅をしています。"

"毎日、何をやっているのかな。"

"毎日、収入はゼロですよ。"

"宮古に行って、5 日目に気付いたんですけれど。"

"私は浮浪者です。"

"目に見える現金を稼ぐのは大変です。"

"でも、目に見えないお金が存在していて

宮古で沢山貰っていると思っています。"

"ノーギャラだった時でも見えないお金を貰っている

そのかわり、良い演奏しないと

その見えないお金は貰えない。"

"そのうちに、目に見えるお金が入ってくる。"

"「朝帰り」でも歌おうか。"

"あの、宮古には電車が無いので、終電に乗り遅れる とかがないのね。"

"だから宮古の人には、この歌はピンと来ないと思う。"

"ジャンベ、駆けつけてくれてありがとう。エンジニアの加茂さんです。"

"最近、娘さんが生まれて、名前は ナユタ "

"キーボードは、じゃむ姉さん。CDのデザインを担当されました。"

"ピアノ弾きなんだけれど、レコーディングのときに

熱を出してしまって、音を戴いていないけれど、

他のものを沢山戴いています。"

力強いジャンベの音が雷鳴のように鳴り出し、「朝帰り」 Saxが加わります。歩さんの繊細な感じのギター演奏。

"どうも"

"良いね。"

"なんか、良い感じになって来たね。"

(Sax の 孝さん) "キング歩だね。"

"みんな、キング・ジョー というバンドのメンバーなんだよ。"

"解った、「名前のないうた」"

"ちょっと激しいな... まあいいか"

"熱いライブになる... 皆、反応してくれよ!!"

「名前のないうた」 Sax、そしてジャンベが、激しく鳴りだし... Sax はスピード感がある感じ
です。「名前のないうた」が疾走していく感じ。1

"(メンバーに)じゃあ、一旦休憩"

"ゆっくり飲んで待っていてね。"

"皆さん、がらがら飲んで待っていてください。"

"美味しいんだよ、ビール。"

"ここのお店には、いろいろな種類があって ..."

"この今のメンバーって CDに参加してくれた人で"

"忙しいんだよ、みんな"

"なかなか一緒に集まれる機会がなくなって..."

"だから、ギューっという感じで作った。"

"楽しかった。"

"宮古で今度、7月に海開きがあるんだ。"

"そこで私は歌う予定があって、だから

帰らなきゃならんのだ。"

"あと、オリックスが来てたでしょ、宮古に"

"そこで歌う機会があったんだ。"

"あと、自衛隊の30周年記念があって、そこで歌った。"

"私だけ、こんな服装をして参加した。"

"本当に宮古島って海の中にあるんだな。"

"ヘリに乗るときに、鼓膜を傷めないように防音のヘッドホン"

"私は、ちょうどデカイ音で「海風」の練習"

"「海風」は、宮古島で作った歌です。"

"今回のCDの1曲目に入っています。"

「海風」、一人で弾き語り。

"どうもありがとう"

"狩俣という集落があるんだけど
そこに風力発電の場所もあるし"

"西側の先っぽのほうの集落。"

"面積は、狭いけど、すごく広い"

"いろいろな文化が集まっていて民宿で歌ったりする毎日。"

"その日、出会った人の前で歌う。"

"福岡の人で宮古に骨を埋めるっていう人がいて奥さんが狩俣出身"

"その人から戴いた詩があって"

"その人の歌を歌うから聴いてね。"

"(メンバーに) 入れそうだったら入ってね。"

「無題」曲は、加川 良さんの曲みたいな感じのメロディーで Sax、ベース、歩さん、キーボード 即興演奏に近い感じです。

"「Bedroom」を演じます。" "CDに、これは入っている曲ですね。"

「Bedroom」 Sax、ベース、歩さん、キーボード 歌が柔らかい感じです。

"ありがとう"

"凄い、最後キーが合っている。"

"何の打ち合せもなくても "

"最後の曲は "

"この曲が出来た経緯を話したら面白いんだけど
敢えて何もいわずに歌います。"

ディランの「風に吹かれて」のような演奏。

"演奏、こんな感じをお願いします。"

「パイロットになりたい少年」メロディーがすごく良い曲。ディラン、吉田拓郎さん、友部正人さんを思い出しました。風のように生きた歌。

"今日は、どうもありがとうございました。"

"どうかCDを買って帰ってください。"

"メンバー紹介です。"

"Sax：タカっちゃん"

"ベース、ジャンベ：加茂さん"

"ピアノ、キーボード：アプリコットジャム姉さん"

アンコールの拍手 (残業!、残業!)

"じゃあ、あたる 頼むぜ!"

"レコーディングって始めて行ったんですけど"

"一番最後に入っている「バイバイ」という曲なんですけれど"

"一緒に演るつもりじゃなかったんですけど"

"でも、一緒に演ってみたら良いんじゃない? という感じで"

"あたる がミスったら私が良い演奏をしてもボツ"

"でも、一発で録れてしまった。"

"でも、とっても嬉しかった"

"あたる がソロで演っているの好きだし"

"なあ、久々に演るなあ"

"憶えているかい?"

「バイバイ」 歩さんが歌い、あたるさんのピアノ ピアノの音が何層も重なって積まれていく感じでした。

"どうもありがとうございました。"

"あたる です。"

歩さんのライブは ステージと客席との境界線が存在していない感じでした。そこには対立がなく、そして、歌が各々自分のものになり生きている感じでした。境界線の無い空間の中では、何の打ち合せもなく呼吸、コミュニケーションだけでライブが進行して行きます。2時間半、リハを含めると3時間のライブ空間でした。

曲目リスト

(1部)

1. コイン
 2. 熱帯夜
 3. 扉
 4. 約束の日
 5. 「宮古の歌」(古い島の歌)
- (休憩：あたるさんのステージ)
1. ??????
 2. お帰りなさい
 3. 海風 (歩さんの曲をカバー)

(2部)

1. 朝帰り
 2. 名前のないうた
 3. 海風
 4. 無題 (宮古の人から戴いた詩)
 5. Bedroom
 6. パイロットになりたい少年
- (アンコール)
- バイバイ

2003/6/20 渋谷 アピア

20:40 歩さんのステージは、4番目(ラスト) 歩さんの服装はノースリーブにロングスカートの夏風の服装です。場内が静かになり、ライトの暖かさが伝わってくる感じです。ハミングをする歩さん。そして柔らかいギター之音。「タイフウノメ」

"『歩く』と書いて歩と言います。"

"久しぶり "

"「砂の城」"

速いリズムの曲。

"ありがとうございます。"

"宮古島に住み着いてしまいました。"

"宮古島というのは沖縄よりもっと南の方にある島です。"

"アピアは半年ぶりです。夏ですね。"

"宮古は常夏の感じ。"

"「月満ちる花」"

浮遊感 低音の声が浸透してくる感じです。ゆったりとした感じで身体を横に振りリズムをとりギターを弾く歩さん。

"どうもありがとう"

"えー、「約束の日」"

テンポが速い感じです。そして、テンポの良い足踏みです。ときどき一本足状態でリズムを取る歩さん。声が浸透してくる感じです。〈柔〉

"ありがとう"

照明が暗くなり

"めいっばい歌いたくて"

"あまり喋らず時間いっぱい、いっぱい歌います。"

"「Bedroom」"

静寂感

"ありがとう"

"「夜明けのうた」"

フォークの流れが感じられる曲です。

"ありがとう"

"『アサガオと月』という曲を作りました。"

"今日はアピアの受付に置いてあります。"

"CDに入っている1曲目です。「海風」"

今日の歩さんの履物はサンダルです。

"では、最後になります。"

"歩と宮古島との関係は言葉では語りつくせぬ

深いものがあります。"

"よかったらホームページ観てください。"

"毎日書いているコラムもあります。"

"「パイロットになりたい少年」"

歩さんの「パイロットになりたい少年」を聴いていて思い出した曲があります。友部正人さんの「空が描いたボール」という曲です。

"どうもありがとう"

"またお会いしましょう"

今回の感想ですが全体的に安定感を感じました。回数を重ねる毎に安定感が増してくる感じです。歩さんの声が良くなっていました。低音ですが、癒しの感じが出てきた感があります。その癒し感が「月満ちる花」、「夜明けのうた」、「海風」、「パイロットになりたい少年」の中に活きている感じがしました。これらの曲は歩さんの作品の中で自然が感じられる曲だと思っています。

曲目リスト 1. タイフウノメ 2. 砂の城 3. 月満ちる花 4. 約束の日 5. Bedroom 6. 夜明けのうた 7. 海風 8. パイロットになりたい少年

2004年1月10日 江古田 Cafe FLYING TEAPOT 「 Green Harmony vol.2 」

赤の長袖に赤のロング・スカートで歩さん登場。
「あふれる花」のア・カペラ
"えっと、'あるく'と書いて 歩と言います。"
"遅くまで、どうもありがとう"
「砂の城」
"どうもありがとう"
"今日は個性豊かないろんな人がステージを温めてくれて
いろんな人が歌ったり、いろんな人が喋ったり
凄い事になっています。"
"私は東京出身だけど宮古島に住んでいて
とにかくミュージシャンがいないんですよ。"
"東京は、いろんな人が、ひしめきあっているから ... "
「パイロットになりたい少年」 自然の香りがする感じです。「名前のないうた」 柔らかい感じのギターが波状に伝わってくる感じです。 ゆったりとしたテンポの「名前のないうた」
"どうもありがとう"
"あのね、来週の金曜日、16日に渋谷のアピアで
夜10時～ライブを演じます。"
"飲んだ帰りとかに、ちょっと座りたいなと思ったらアピアにどうぞ"
"「海風」という曲です。"
＜ 詞 ＞ が伝わってくる感じです。 心地よい波のような感じ
"どうも"
"じゃあ、最後の曲なんですが"
"CD、7曲入りです。"
"今日は、色々な人の、色々な演奏と
色々な人の話と、いっぱいいっぱいですよ。"
"今日は、これで飲んで帰りましょう"
"じゃあ、最後は「窓枠」"
柔らかいヴァイブレーションと共に 詞が浮き上がってくる感じ。
"どうもありがとうございます。" "皆様、どうもありがとうございました。"
(アンコール) 「 Bed Room 」 ジャンベが加わる。
"どうぞ、参加してください。"
優雅に舞うような「 Bedroom 」
"ありがとうございました。"
歩さんの初期の曲、「名前のないうた」、「 Bedroom 」 が生まれ変わっている感じがしました。以前の強烈さは無くなっていて、宮古島の、ゆったりとしたテンポに 聴き手側の波長が合ってしまった感じがしました。

== 曲目リスト ==

1. あふれる花
2. 砂の城
3. パイロットになりたい少年
4. 名前のないうた
5. 海風
6. 窓枠
7. Bed Room

2004/1/16 渋谷 アピア (LIVE 22)

夜 10:00 からのアピアでのワンマン・ライブです。
静。

"こんばんは、歩く と書いて 歩といいます。"
"宮古島に住んでいます。東京出身なんですけれど"
"宮古島で会った友達が今日スーツで来てくれると
なんか不思議な感じがします。"
"東京は不思議な場所な気がします。"
"宮古が不思議なのかな?"

"「 雨 」"

浮遊感 柔らかいギター

"ありがとう"

「 赤茶けたハッピー 」 響 という感じ。 柔らかい声。 以前の「 赤茶けたアッピー 」とは違う
感じの曲に 生まれ変わっていました。

"「 約束の日 」"

照明暗。 歩さんが持っている醒めた(目覚めた)感じが この曲にも生きている感じです。

"えーと、明日は雪なんでしょうかね?"
"せっかくだから雪を見たい"
"去年のクリスマス近辺、暖かくて"
"宮古は暖かかったんです。"
"私は泳いでいました。"
"冷たいんですよ。やっぱり水は"
"気温は上がったけど水温は上がらなかったんです。"
"水の中は、じりじりなんですよ。"
"冷たいけど"
"東京で、はしゃいでいると田舎もんみたいだけど"
"宮古で泳いでいるのも田舎もんの逆"
"カヴァーなんですけど「 波 」"

どんと さん のカヴァー 確か、どんと さんは「 波 」はこの世と、あの世の境目と言っていた
らしいです。

"ありがとう"

"前も言ったかもしれない"

"宮古の海、すごく透明なんです。"

"波うち際でも水が、濁ってなくて綺麗"

「 窓枠 」 真実を直視する目

"去年一番、一生懸命、声を出そう、伝われ! と思ったときがあつて"

"それでも伝わらなくて"

"2~3人の御婆達の前で演奏した時です。"

"耳元で喋らないと伝わらないんです。"

"ガンガン弾いて、すごく声を出そうと思ったんです。"

"痴呆の方とかが居るホームに遊びに行ったんですけど"

一番年長は92歳、私よりもっと若い人がヘルパーさん

なんですけれど、子供をあやすように世話をしているんです。"

"私、大変失礼しちゃったの"

"御婆達の三線のチューニングがくるっちゃったの"

"それで私がギターのチューニングをするようにしようと思っても出来ないの"

"92歳の御婆は、ヨボヨボなのにチンダミ(チューニング)とか出来るんです。"

"やっぱり年配の人達を敬う気持ちと 面倒を見てあげようという気持ちが私の中で葛藤して"

"でも一緒に居るうちに対等になれたんです。"

"こういう風に対等になれると御婆達の面倒を自然にしてあげられる"

"御婆になってもチンダミが出来て、自分の歌を忘れなければいいな"

"脳細胞が衰えても音楽の寿命って長いんじゃないかと思えます。"

「 扉 」

"どうもありがとう"

"ところで今何時ですか?"

10:45です。

"最近、時計を見ない派になってしまいました。"

"月のカレンダー、あるじゃないですか?"

"月の満ち欠けとか"

"あれを去年一年間使っていたんですが"

"満月のときとかエネルギーが満ちあふれている感じで"

「月満ちる花」 静かなハードロックという感じです。静かなのですが、なんとなく、カルメン・マキさんの「捨てられたイブ」や fra-foa の「月と砂漠」を思い出す感じの曲。

"ありがとう"

(CDの話)「海風」

"今日は寒い中、本当にありがとうございました。" "では最後に「パイロットになりたい少年」" "また会いましょう。私も修行して92歳になっても歌っていきます。"

「パイロットになりたい少年」 回想的な流れを感じる曲。

"どうもありがとうございました。" "また会いましょう"

(アンコール)

"皆様の暖かい残業コールにお答えして" "「名前のない、うた」というのが在ります。" "じゃあ、それを聴いてください。"

「名前のない、うた」 「名前のない、うた」は、歩さんにとって大事な歌のような気がしています。背景に大きなものが感じられる曲です。

"ありがとうございました。" "どうぞ気をつけてお帰りください。"

今回、歩さんが、どんとさんの「波」を歌われた事はとても重要な事のように思えます。歩さんのステージの中には 現実、真実、自然を見つめる目のようなものが宿っている感じがしています。あと、背景に自然が感じられました。

== 曲目リスト ==

1. 雨
 2. 赤茶けたハッピー
 3. 約束の日
 4. 波 (どんと)
 5. 窓枠
 6. 扉
 7. 月満ちる花
 8. 海風
 9. パイロットになりたい少年
- (アンコール)
名前のない、うた